

SAPIX	6年						
	算数						
学習内容	21回 数の性質 22回 和差に関する問題 (1) 23回 和差に関する問題 (2) 24回 比と割合 (1)						
家庭学習ポイント	9月以降、さらにこれまでの学習内容を総ざらいしていくカリキュラムになっています。もちろん進度は「駆け足+a」のペースで目まぐるしいものです。夏期講習を「それまで通り、説明を聞いて理解する」というスタイルで過ごしたお子さんは、かなり「忙殺」されたのではないかと思います。今後は特に、授業では「できることとできないこと」「覚えていることと忘れていたこと」を確認し、1つでも穴を多く埋めるという気持ちと姿勢で臨む必要があります。具体的には21回の1回の授業で「数の性質」の全範囲を、以降は1つの大分野につき2回の授業で確認していきますから、そのリズムで家庭学習も回していく（SSも始まりますから、時間配分に間をあためて考えてみる必要があります）ことがポイントです。今後は特に、授業で演習する問題1つ1つについて「○・△・×」をしっかり把握していくことが大切で「△を○にする」を1問も多く、が常に学習のテーマになります。また「弱点単元を解決する」時期は10月くらいまでと考え、個別や家庭教師などで解決する場合は早めの決断が必須です。						
課題の把握と解決策	チェック1	「演習⇒解説」の授業パターンに慣れて（対応できて）いますか？					チェック
	解決策	今後はデイリーも含めてすべて「演習型」になると認識しておきましょう					□
	チェック2	問題について「○・△・×」をつける習慣ができていますか？					チェック
	解決策	目まぐるしくなる6年生の9月以降、特に大切です					□
	チェック3	「なんとかしなければならない単元・分野」がはっきりしていますか？					チェック
	解決策	この時期からは、塾以外のサービスも含めて活用することも視野に入れるといいでしょう					□
	チェック4	過去問の演習計画は立ち初めていますか？					チェック
	解決策	算数だけでなく4教科×数年分×受験校数となるので、早めの計画が必須です					□
	チェック5	算数だけに膨大な時間と労力を取られていますか？					チェック
	解決策	算数は大切な科目ですが、他教科との学習バランスも注意しておきましょう					□
SAPIX	6年						
	国語						
学習内容	21回 入試実戦演習 論説文 22回 入試実戦演習 論説文 23回 入試実戦演習 物語文 24回 入試実戦演習 物語文						
家庭学習ポイント	Aテキストでは慣用表現の意味、使い方の確認、漢字、熟語と文法事項（助詞・助動詞の識別）の復習を進めます。入試問題レベルの長文に対応するには、何よりもまず豊富な語彙が必要になります。これまであまり力を入れてこなかったお子さんは、ここからでも読解と同じくらい力を入れてみましょう。入試までの数ヶ月でも必ず（読解力そのものに）効果が出てきます。Bテキストでは今まで以上に長文化・難化した論説文と物語文が扱われます。こちらも実戦的な学習になりますね。過去問演習もそろそろ（夏期講習中も国語の過去問については宿題が出たのではないかと思います）本格化してきます。デイリー・土特・SS・過去問を一週間でどのように回していくか、早期にサイクルを構築するよう意識して取り組みましょう。受験校がおおよそ決まってくる時期でもあります。学校別オープンの手応えや結果をもとに具体的な受験校を検討しつつ、それらの学校の出題傾向に合わせて（選択問題や抜き出し中心なのか、記述中心なのかなど）ふだんの学習でも「何に重心をおいて学習するのか」を考え実践していきましょう。その際は塾の先生に質問することにより、その先生の知見を最大限活用することも大切です。						
課題の把握と解決策	チェック1	語彙力に関する不安が残っていませんか？					チェック
	解決策	9月からでも間に合います。A授業「コトノハ」を中心に補強計画を組んでもよいでしょう					□
	チェック2	志望校の出題傾向がわかってきましたか？					チェック
	解決策	受験校を具体的に決める中で、その傾向についても過去問で確認していきましょう					□
	チェック3	デイリー・土特・SS・過去問を一週間でどのように回していくか、サイクルは決まりましたか？					チェック
	解決策	いずれも大切ですが、いずれはSSと過去問が中心になっていきます。塾の先生に相談しましょう					□
	チェック4	冬休み～1月の過ごし方について考え始めていますか？					チェック
	解決策	いろいろな要因を考え、少しずつイメージをしていきましょう					□
	チェック5	過去問の演習計画を立て始めていますか？					チェック
	解決策	第一志望・第二志望、そして併願校までかなりの数になります。計画が必要です					□

SAPIX	6年						
	理科						
学習内容	21回 惑星（地学） 22回 電磁石（物理） 23回 LEDと手回し発電機（物理） 24回 熱（化学）						
家庭学習ポイント	夏期講習に引き続いて各分野、単元の復習が続きます。10月からはさらに総まとめの復習、総合演習を経て入試に臨むカリキュラムです。1回の授業で扱う内容が膨大になっていきますが、おちついて「できること」「できないこと」を把握して「できない」を「できる」に1つづつしていくことを心がけていきましょう。21回「惑星」では近年頻出の太陽系の惑星の動きについて学習します。特に金星は重要で、内惑星である金星の見え方の特徴、外惑星である火星などとの違いを説明できるようにしておく必要があります（入試では計算、記述の両方が出題されます）。また会合周期（2つの周期が合致してから、再度合致するまでにかかる時間）についても「公式」を覚えて運用できるだけでは、難関校の入試には対応できません。基本的には算数の「旅人算」の考え方を使いますから、自分で図を書き「単位時間ごとの進度（角度）の差」に注目して式を立てることが大切です。また23回「LEDと手回し発電機」は近年いろいろな学校で出題されている分野であり、その仕組みと使い方をしっかり理解しておくことが大切です。24回「熱」については熱量計算を正しくできることが必須になります。温度の違う水を混ぜ合わせた場合の考え方（面積図や天秤図）の使い方をマスターしておきましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	「授業で課題を発見、解決⇒家庭学習で確認」のサイクルが出来上がっていますか					チェック
	解決策	9月以降は夏期講習同様、上記のサイクルを回していくことが必須になります					□
	チェック2	内惑星である金星について、外惑星との違いなどがわかっていますか？					チェック
	解決策	地球の内側を公転していることで「朝夕にしか見えず真夜中に見えない」などの特徴がありますね					□
	チェック3	会合周期の計算について、だれかに説明できますか？					チェック
	解決策	旅人算の問題として親御さんに説明できるか確認してみましょう					□
	チェック4	手回し発電機のしくみを理解できていますか？					チェック
	解決策	近年頻出です。しくみは単純なのでしっかり理解しておきましょう					□
	チェック5	熱量計算を正しく行えていますか？					チェック
解決策	水の重さ（g）×温度変化（℃）＝熱量（カロリー）をどんどん使いましょう					□	
SAPIX	6年						
	社会						
学習内容	21回 歴史用語のまとめ（1） 旧石器時代～平安時代 22回 歴史用語のまとめ（2） 鎌倉時代～安土桃山時代 23回 歴史用語のまとめ（3） 江戸時代～明治時代 24回 歴史用語のまとめ（4） 大正時代～現代						
家庭学習ポイント	9月のデイリーは「歴史用語のまとめ」（1）～（4）です。テキスト構成は「年表による確認～入試問題演習～一問一答問題による知識の確認」となっています。入試問題演習には地理分野、公民分野のページもありますので、全分野をチェックしながら歴史の総復習ができる構成です。巻末には政治、文化などの重要事項が整理されているので、そちらも隅々まで目を通していきましょう。この9月のサイクルで、基本的な知識を完成させることが目的となります。土特、SSとも演習授業ですので（過去問演習ももちろん同じです）、「まずは問題を解いて自分に足りないものを把握して補充する」というサイクルで学習が続きます。そのサイクルでは、知識がない状態で取り組んでも（問題がそもそも解けないので）効果が上がりません。もちろん今の段階で「ほぼ一問一答的な知識が完成している」という状態であれば問題ないのですが、そうでない場合は9月中に完成させるつもりで取り組みましょう。その上で、SSや土特で解いた問題を「解きっぱなし」にせず、しっかり振り返って知識の抜けを補充していけば、入試問題にも対応できる実戦力がついていきます。						
課題の把握と解決策	チェック1	一問一答的な知識はほぼついていて、といえますか？					チェック
	解決策	不安がある場合は9月のデイリーは非常にポイントとなります。9月に知識完成を目指しましょう					□
	チェック2	問題を「解きっぱなし」にせず、演習後に「覚える」時間をとっていますか？					チェック
	解決策	「問題を解く⇒不足していることを補充する」の両輪を回すことで実戦力がついていきます					□
	チェック3	時事的な問題について、アンテナは立っていますか？					チェック
	解決策	そろそろ時事的な話題についても意識して取り組み始めましょう					□
	チェック4	「今日はこれだけのことを覚えた」と言える状態で学習が進んでいますか？					チェック
	解決策	自分の進歩の具合を把握しておくことはモチベーションUPにも繋がります					□
	チェック5	過去問演習の計画を立て始めていますか？					チェック
解決策	受験校については「解いたことがない」という学校がないように計画を立てましょう					□	